樫原学区

データファイル

- 人　口　15,195人
- 世帯数　5,953世帯
- 面　積　2.018㎢

＊平成17年国勢調査（10月1日現在）

参勤交代の宿場町「樫原」

西京区誕生30周年を迎え，心よりお祝い申し上げます。

樫原の旧山陰街道は江戸時代から京都と丹波，丹後に通じる要所にあり，参勤交代で諸大名が宿泊された本陣跡もあり，街道筋の家並みには当時を偲ぶ，むしこ窓，紅殻格子やバッタリ床机等が残っています。歴史，史跡，伝説も多く，現在，樫原界隈は「景観整備地区」に指定され，「町並み保存」にご尽力をいただいております。近年において高度成長期とともに農地が宅地に開発され人口が倍増し，昭和45年には川岡樫原小学校分校から樫原小学校として開校いたしました。また新山陰街道も昭和54年に開通し，現在，区内で最も人口が多いのが樫原学区です。

こうした人口増加とともに地元民と新興住民との融和を図るため，36年間の多期に渡って自治連合会会長を務められた豊田英嗣氏を中心に多くの役員・各種団体，学区民の方々が地域活性化を目指し力を合わせて自治会館や自治会集会所の建設，地域の顔である樫原小学校の施設（体育館，ミーティングルーム，児童館等）の充実の為に力を注いで来られました。こうした施設は，「学校コミュニティプラザ事業西京南ゾーン」として体育館，ミーティングルームは地域に一般開放され，体育館では各種スポーツを通じての体力増進に，また毎年9月には敬老会を盛大に挙行しています。ミーティングルームにおいては「市民検診」「健康すこやかサロン」等，学区民，高齢者の福祉増進，地域の集会所としても多目的に活用されています。

児童館において毎月1回「子育て支援サロンじゅげむ」を開催し，乳幼児を抱えた保護者の支援活動を実施しています。

防災面においては，樫原小学校を避難場所の拠点とし西京消防署，樫原消防分団の熱心なご指導の下，12月には樫原自主防災会を中心に，学区民上げての防災訓練を実施，防犯面においては「安心・安全な町づくり」を目指し，安岡自治連合会会長を軸にボランティアを公募し，「こども・地域安全見守り隊」の組織構築に向けて努力しております。

こうした社会福祉事業や各種事業・イベントなどは学区民のご理解とボランティアの方々の支援に支えられ充実を極めておりますが，同時に後継者育成の課題を抱えているのも事実です。世代を越えた「絆」で支える「樫原」を目指しています。

樫原陣屋跡

敬老会

夏まつり

故豊田英嗣前自治連合会会長

子供神輿

健康すこやかサロン

樫原廃寺跡で年三回清掃を実施

自主防災訓練

子ども・地域安全見守り隊